

# 平成28年度 自己評価結果

高田カトリック幼稚園

## 1. 園の教育目標

カトリックの「愛の教え」に基づいて、一人ひとりの人格を尊敬と愛情をもって受け入れるように努める。学校教育法・モンテッソーリ教育法を総合的に取り入れ、幼児それぞれの発達に応じた自主活動を行い、他の幼児や教師たちと楽しく関わりあいながら、ゆたかな人格形成ができる適切な手助けと環境を提供するよう努める。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- \* 職員の研修
- \* 保育環境の充実と見直し
- \* 安全管理

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
* 職員の研修	<p>昨年に引き続き、『文化』の活動についての研修を行い、子どもの様々な興味や要求に対応できる実践力の向上に努めた。</p> <p>日々の子どもの姿を記録し分ちあいを通して、子どもの姿や発達の現状・課題についての理解を深め、また作業療法士と連携し、発達の課題と接し方について教職員が共通理解するためのカンファレンスを行い、各々の実践力の向上へとつなげた。</p> <p>職員の経験年数等によって学ぶべき課題が様々で多岐にわたっているため、そのすべてを1年の研修で網羅することは難しかった。</p>
* 保育環境の充実と見直し	<p>モンテッソーリ教師の役割を理解し、子どもの自立を助けるよう各々が心掛けて日々の保育にあたり、愛情と秩序感のある空間を作るように皆で努めた。</p> <p>自由選択活動の時間を大切にしながら、行事や年齢別の活動とのバランスを考え、1日・週・月の時間配分等を教師間で検討した。</p> <p>しかし、行事前になると、一人ひとりの興味と発達を踏まえた教材をゆっくり検討しながら準備する時間が取れず、慌しく準備することが多かったため、方法を検討する必要がある。</p> <p>戸外での遊びについても、環境の作り方や遊び方の紹介についてさらに検討していきたい。</p>

*安全管理	<p>耐震診断に基づいた補強工事を行い、安心して心地よい空間作りを行った。</p> <p>救命講習やエピペンの使用方法の練習を行い、けがやアレルギーなどによる体調の急な変化の際の、教員の役割、連携した動き方の再確認を行った。</p> <p>降園時、保護者以外の人が入らないように職員が二人体制で立つ、防犯カメラの台数を増やすなど、不審者に対する対応の強化をおこなった。</p> <p>園庭の遊具は、専門の方に依頼して点検を行っているが、日々の点検が大事であるので、点検のポイントを全員が把握して行えるよう、マニュアルを検討していきたい。</p>
-------	--

#### 4. 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	
良好である	教職員間および保護者とも十分に緊密な連絡を取り合い、教育内容の向上・改善につながった。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
*職員の研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの育ちを語り合う中で、園全体で目指す保育や子どもの姿を共有し、子どもを観察する力をさらに一人ひとりが養う。</li> <li>・実技の練習を通して、モンテッソーリ教育の実践力を高める。</li> </ul>
*保育環境の充実と見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達をきちんと評価し、今後の育ちを見据えた教材・教具の準備、環境を作っていく。</li> <li>・横割り活動と縦割りクラスでの自由選択活動や生活のバランスについて、引き続いて見直しを行っていく。</li> </ul>
*安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災・地震・不審者を想定した避難訓練のあり方を検討し、避難方法や教職員一人ひとりが連携して動けるよう、研修・訓練を行う。</li> <li>・けがやアレルギーなどによる体調の急な変化の際、職員の役割、連携した動き方の再確認を行う。</li> </ul>

#### 6. 関係者の評価

年度初めの保護者の集りにおいて昨年度の取り組みと今年度の取り組み目標を園長が話しする。